

# INFOPRO2006

第3回情報プロフェッショナル シンポジウム  
ー インフォプロに求められるもの・インフォプロが求めるもの ー

**会期** 2006年11月16日(木)～ 17日(金)

**会場** 日本科学未来館 7階  
(東京都江東区青海2-41)

[http://www.miraikan.jst.go.jp/j/guide/map\\_index.html](http://www.miraikan.jst.go.jp/j/guide/map_index.html)

**主催** 独立行政法人 科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency (JST)

**社 団 法 人 情 報 科 学 技 術 協 会**

Information Science and Technology Association (INFOSTA)

**後 援** 専門図書館協議会

特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

財団法人 日本情報処理開発協会

社団法人 日本図書館協会

第1日目 11月16日(木)

**A会場** **みらいCANホール**

○は会場発表者、敬称略

13:30~15:25 セッションA1 . . . . . 特許情報1  
座長 徳野 肇 ((株)ダイヤリサーチマーテック)

演題A11 特許と論文による技術動向分析の試み  
- 新たなポジショニングの発見 -  
トムソンサイエンティフィック

奥井 孝一

演題A12 特許情報解析システム(第一報)  
- フリーウェアtermmiの応用 -  
(株)ワイゼル

○加藤 亮、橋本 博之  
辻河 登

演題A13 特許情報のテキストマイニングの可視化  
- 化学・電気・機械分野のTOSARグラフによる解析事例 -  
INFOSTA-SIG-パテントドキュメンテーション部会  
(株)帝人知的財産センター  
日科情報(株)  
はやぶさ国際特許事務所  
JAPA知財センター  
大阪工業大学大学院  
(財)日本特許情報機構  
田中貴金属工業(株)

○桐山 勉  
長谷川正好、田中 宣郎  
川島 順  
大山 勝弘  
都築 泉  
玉置 研一  
藤嶋 進

演題A14 新規化合物構造マップの提案  
- 特許クレームを反映した物質特許の解析手法 -  
日本ファームドック協議会  
(株)住化技術情報センター  
あすか製薬(株)  
塩野義製薬(株)

○岡 紀子  
中尾 富雄  
太田 規央

15:25~16:00 休憩

16:00~16:15 挨拶

独立行政法人 科学技術振興機構 理事長 沖村 憲樹  
社団法人 情報科学技術協会 会長 立花 肇

16:15~17:15 特別講演 **情報社会の本質的な変化**

講師 安西 祐一郎 慶應義塾長

17:30~19:30

情報交流会

会場: レストラン

**B会場 会議室2**

○は会場発表者、敬称略

13:30~15:25 セッションB1 . . . . . 電子ジャーナル  
座長 殿崎 正明 (日本医科大学中央図書館)**演題B11 電子ジャーナルの事業化と購読者管理**

- 日本化学会の取り組み -

(社)日本化学会  
東京大学○林 和弘、太田 暉人  
小川桂一郎**演題B12 J-STAGE掲載電子ジャーナルへのアクセス動向の分析**

独立行政法人科学技術振興機構

愛知大学  
(株)アトラス○和田 光俊  
時実 象一  
田口 友子**演題B13 電子投稿審査システムの導入とその影響**

- 日本農芸化学会の経験 -

東京大学  
理化学研究所  
前橋工科大学  
広島大学  
日本農芸化学会○西山 真、加藤 久典  
吉田 稔  
山口五十磨  
宮川 都吉  
小梅枝正和、日岡 康恵**演題B14 電子ジャーナルのアーカイビング**

- 現状と将来展望 -

青森中央短期大学

後藤 敏行

**C会場 会議室1**

○は会場発表者、敬称略

13:30~15:25 セッションC1 . . . . . 情報処理技術  
座長 手塚 久男 ((株)東芝)**演題C11 特許、論文データベースを統合した検索環境および動向分析ツールの構築**広島市立大学  
東京工業大学  
IRD国際特許事務所  
インテック・ウェブ・アンド・ゲノム  
・インフォマティクス  
ピコラボ  
デュオシステムズ○難波 英嗣、釜屋 英昭  
奥村 学  
谷川 英和  
新森 昭宏  
鈴木 泰山  
宮原 俊一**演題C12 検索エンジンビジネスの動向**

- 特許情報活用の視点から -

大阪工業大学大学院

○河上慎太郎、都築 泉

**演題C13 各種材料情報の連携によって得られる知見**

- XMLで記述した数式を用いたデータ解析 -

物質・材料研究機構  
東洋大学○芳須 弘、原田 幸明、藤田 充苗  
芦野 俊宏**演題C14 カメラ付き携帯電話を用いたユビキタス情報共有システム**

- フォトサイファーシステム -

(株)カオスウェア  
東京学芸大学○梅野 健、寺井 秀明、高 明慧  
高薮 学

10:00~12:30 トーク&トーク「**学術情報の流通・利用と著作権**」

座長 真銅 解子 (東レ株式会社)

著作権のあり方が大きく変わりつつあります。学術情報の発表や提供の形態はデジタル化が進みインターネットが不可欠となっています。また、学術研究成果の著作権の帰属をめぐる議論も国際的に高まっています。このような中で、学術研究の領域では、知的財産の保護と学術流通の推進、両者のバランスある革新が期待されています。著作権法の理念を踏まえて、将来を見据えたバランスのとり方や課題などを、理論と共に実務者の立場で意見交換したいと思います。

電子出版、電子ジャーナルは電子投稿を前提とし、電子投稿は学術機関リポジトリの潮流にと繋がっていますので、機関リポジトリや電子出版などと著作権との関わりについても紹介して頂く予定です。また、オープンアクセスの普及やクリエイティブ・コモンズの考え方と実践、最近では学会誌の著作権についてこれまでの方針を変更する学会も出てきていますのでその背景や目的など、幅広い話題を提供し、話題提供者とフロアとのフリートークの場にしたいと考えています。

14:00~14:55 セッションA2 . . . . . データベース

座長 山崎 久道 (中央大学)

**演題A21 網羅的な検索と索引作業の効率化、索引品質の均質化を実現するためのJST文献データベースの取り組み**

— 大規模辞書を活用した索引支援・検索システムの構築 —  
独立行政法人科学技術振興機構 植松 利晃

**演題A22 日本発行雑誌の各種科学技術データベースへの収録状況**

愛知大学 時実 象一

14:55~15:05 休憩

15:05~16:00 セッションA2(続き) . . . . . データベース

座長 木村美実子 (科学技術振興機構)

**演題A23 無料検索データベースと商用データベースの比較**

— Google Scholar, Windows Live, CiNiiの情報収録状況比較 —  
日本オンライン情報検索ユーザー会 化学分科会  
(株)ダイヤリサーチマーテック 鈴木 理加

**演題A24 解析ツールの比較検討**

— STN, STN AnaVist, および SciFinder の特許、文献、化学物質解析機能の特徴と使い分け —  
(社)化学情報協会 ○船戸奈美子、五十嵐康子

**B会場 会議室2**

○は会場発表者、敬称略

14:00~14:55 セッションB2 . . . . . 特許情報2  
座長 岡谷 大 (東京農工大学)**演題B21 IPDLを利用する特許出願経過のフローチャート表示**

- 分かりやすい出願経過情報表示 -

(有)パテントモール

(株)パーソナル・ビジネス・アシスト

鈴木利之特許事務所

○鉅鹿 明弘

新井 明夫

河野 正博

**演題B22 欧州特許(EP)審査経過情報の考察**

- PRSコードから何が読めるか? -

イハラケミカル工業(株)

東ソー(株)

電気化学工業(株)

有房 秀樹

田中 久子

○小山 裕史

14:55~15:05 休憩

15:05~16:00 セッションB3 . . . . . 医薬・医療情報  
座長 佐藤 淑子 (東京女子医科大学図書館)**演題B31 医薬品安全性情報コミュニティ・データベースシステム**

- 妊娠と薬に関する安全性情報の共有に向けて -

徳島大学

NTT東日本関東病院

セイラシステム(株)

○山内あい子、坂本久美子、中馬 寛

中田 栄子

佐々木幹夫、A. Ammar Ghaibeh

**演題B32 EBMに基づく診療ガイドライン、診療ガイドライン開発**

- その情報科学的分析(続報) -

(財)国際医学情報センター

○鈴木 博道、葉山 和美、長瀬 典子

**C会場 会議室1**

○は会場発表者、敬称略

14:00~14:55 セッションC2 . . . . . 情報検索・分析・評価  
座長 山本 昭 (愛知大学)**演題C21 国内人文・社会科学系学会誌の投稿規定分析**

川村学園女子大学

藤田 節子

**演題C22 環境教育テキスト翻訳の質を高めるためのガイドラインと情報技術の役割**

- 米国PLTのGuideline for Excellenceの合意形成と遵守プロセスの検証 -

特定非営利活動法人国際理解教育センター

(株)アプロット

○角田 尚子、田中 幸子

梅村 松秀、足立 恵理

吉森 康治

14:55~15:05 休憩

15:05~15:30 セッションC2(続き) . . . . . 情報検索・分析・評価

**演題C23 研究影響度の国際評価研究**

- 図書館情報学領域における論文の引用分析 -

筑波大学図書館情報メディア研究科

○角田 裕之、小野寺夏生

## 特別講演 情報社会の本質的な変化

講師 安西祐一郎(あんざい・ゆういちろう)慶應義塾長



1974年慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。1971年慶應義塾大学工学部助手、1981年～1982年カーネギーメロン大学客員助教授、1985年北海道大学文学部助教授、1988年慶應義塾大学理工学部教授。1993年～2001年同大学理工学部長兼大学院理工学研究科委員長。2001年には慶應義塾長に就任、人を育むことを第一義として教育、研究、医療、社会貢献に国際社会の第一線で寄与する学塾の発展に尽力している。

現在、日本私立大学連盟会長、日本私立大学団体連合会会長、全私学連合代表、情報処理学会会長、文部科学省中央教育審議会委員、日本学術会議会員、内閣府知的財産戦略会議本部員、文部科学省リーディングプロジェクト「細胞・生体機能シミュレーションプロジェクト」統括マネージャー、情報・システム研究機構理事などを務める。

研究分野は、情報科学・認知科学・知的社会基盤工学。人間の認知、思考、学習、記憶などの情報処理過程を情報科学の方法論によって解明する認知科学、および人間と環境・コンピュータ・ロボットとのインタラクティブシステムの設計を行なう研究分野におけるパイオニアとして知られている。

~~~~~

安西先生は、情報処理学会の会長就任挨拶の中で、「情報技術を当たり前のように駆使し、自分の生活、地域のコミュニティ、社会のあり方を変え、自分と他者の能力が十分に発揮できるようにしようとする若い人たちは急速に増えています」と述べ、「世界と日本における情報社会が本質的な変化を遂げている」状況について言及しておられます。

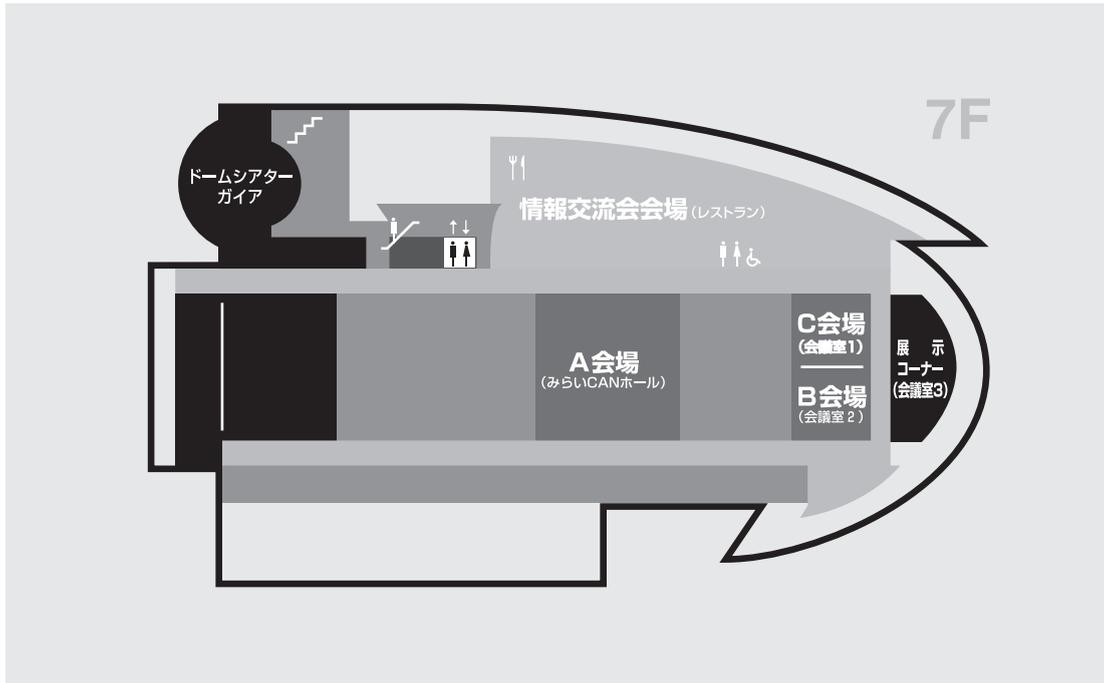
また、「誰しも、人生を真直ぐに来た人であればあるほど、自分がこれまでやってきた仕事、学問、身につけてきた知識と経験を基に、それをさらに伸ばすことが世の中のためになる、と考えます。しかし、本当にそうなのでしょうか」と、社会の本質的な変化を踏まえ、情報社会の中で生きる人間の生き方についてのお考えの一端を述べておられます。

安西先生の著作や講演メッセージを拝見すると、人間に対する信頼が感じられます。先生ご自身「個人の能力は、本人が思っているよりもはるかに豊かで多様であり、人それぞれに自分でも気がつかない素晴らしい能力が潜んでいる」（『自己の啓発』（岩波講座「マルチメディア情報学」11巻）「学習の手引き」より）という、根底的な人間の在り方や生き方について、肯定的なお考えを述べておられます。

今回の特別講演では、情報社会の本質的な変化について深く掘り下げてお話しいただくとともに、その社会の変化を踏まえ、今後人間はどのように生きていくのか、その問いかけに対する先生ご自身のお考えを伺います。情報社会の未来、情報社会と人間の関係、さらには今後新しい社会の中で生きるうえでの指針など、安西先生ならではの深く示唆に富んだお話をご一緒にお聴きしたいと思います。

# 会場案内図

日本科学未来館 7階 (1階エレベーターをお使いください)



## A会場 (みらいCANホール)

- ・特別講演
- ・研究・事例発表

## B会場 (会議室2)

- ・研究・事例発表

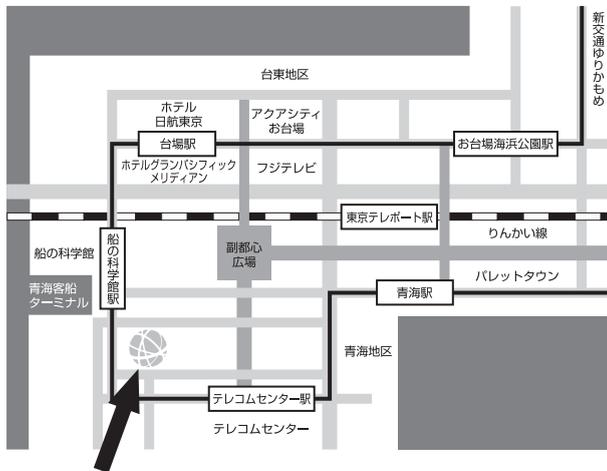
## C会場 (会議室1)

- ・研究・事例発表

## 展示コーナー (会議室3)

# 会場へのアクセス

東京都江東区青海2丁目41番3



### 電車

- 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)  
「船の科学館駅」下車、徒歩約5分  
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)  
「東京テレポート駅」下車、徒歩15分

### 都バス

- JR松浜町駅より  
虹01 (浜松町駅～国際展示場前駅) 「日本科学未来館前」下車
- 東京メトロ東西線門前仲町駅より  
海01 (門前仲町～東京テレポート駅前) 「テレコムセンター駅前」下車
- JR大井町駅より  
井30 (大井町駅～船の科学館前) 「船の科学館前駅」下車
- JR大森駅より  
森30 (大森駅～大森海岸線～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車  
森40 (大森駅～平和島駅～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

### 船

- 水上バス  
(日の出棧橋～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船  
(しながわ水族館～大井海浜公園～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

### 車

- 横浜・川崎・大井・品川方面  
首都高速湾岸線 東京湾トンネル通過後、13号地ランプより1.2Km
- 箱崎 (都心)・小管・千梨方面  
首都高速湾岸線 有明ランプより直進3Km
- 竹芝・芝浦方面  
首都高速11号線 台場ランプより約2Km  
臨港道路 (レインボーブリッジ下層) を通り、台場出口より約1.8Km

## □参加費（予稿集代、2日間共通）

シンポジウム聴講： 一般 **6,300円** 学生 **4,200円**（消費税込み）

情報交流会：**4,200円**（消費税込み）

## □参加申し込み方法

参加申込受付フォーム(<https://www.dicalpha.net/infopro/form.html>)もしくは別紙の「参加申込用紙」でお申し込みください。

### 併 設 催 事（予定）

場所：展示コーナー(7F)

- ・ JSTの情報提供サービスの紹介
  - ・ JDreamII などの紹介
- ・ INFOSTA研究会紹介
  - ・ 日本オンライン情報検索ユーザー会  
Online User Group (OUG) の活動紹介
  - ・ 専門部会 Special Interest Groups (SIG) の活動紹介

独立行政法人

**科学技術振興機構**

Japan Science and Technology Agency (JST)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3  
研究基盤情報部 科学技術普及課  
TEL : 03-5214-8406 FAX : 03-5214-8420

社団法人

**情報科学技術協会**

Information Science and Technology Association  
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7  
佐佐木ビル  
TEL : 03-3813-3791 FAX : 03-3813-3793  
E-mail : sympo@infosta.or.jp

\*お申し込みに関するお問い合わせは、以下へお願いいたします。  
INFOPRO受付担当 TEL : 03-5391-2174 FAX : 03-5391-2232

参加申込は、  
以下の参加申込受付フォーム  
<https://www.dicalpha.net/infopro/form.html>

プログラムは、  
以下のINFOSTAホームページ  
<http://www.infosta.or.jp/symposium/infopro2006program.html>